



地域おこし協力隊通信

VOL 6



隊員 坂口幸乃

9月30日・10月1日

クラッククライミングエリア公開イベント

比叡山に新たにクラッククライミングのエリア「比叡エンドウォール」が公開されました。「クラック」とは岩の割れ目になっている部分のことです。岩の割れ目に手や足をねじ込んで登っていく、「ジャミング」という技術を使って登っていきます。もとは「トラディショナルクライミング」と言い、ボルトの技術が今ほど確立されていなかった時代に始まったフリークライミングの伝統的な姿なんだそうです。

岩にボルトを打ち込んでヌンチャクで支点を取るクライミングスタイルと異なり、クラッククライミングは支点が何も打ち込んでありません。「カム」や「ナッツ」と言うギアを使って自分で安全確保を取った所にロープをかけながら登ります。自然を壊すことなく、ありのままの岩を登れるという喜びを感じられる魅力があります。

クライミングの原点ともいえるスタイルになるのですが支点を取るための道具「カム」や「ナッツ」がとても高価なので、マニアックで敷居が高いイメージがあります。この日は県外から30人以上の方が集まり、比叡のクラックを楽しんで行かれました。(なんと県内からの参加は私だけでした…)

私もクライマーの端くれ、一度はやってみなければと思い初めてクラッククライミングをやってみました。ボルダーとはまた違う筋肉を使い、次の日は筋肉痛でした…。

まだまだ比叡山には魅力的な岩が沢山眠っているようです。自然の有難さを感じながら、大切に登らせていただきたいと思います。そして、沢山の方に訪れてもらえるような場所になってほしいです。



稲刈りお疲れ様でした

9月下旬頃から北方町の至る所で稲刈りが行われていました。夏の初めに植えた青々とした稲は、あっという間に黄金色に変わり実りの秋を迎えました。お米大好きな私が一番わくわくする季節です。

今回は私の住む菅原地区でお世話になっている山田さんご夫妻の稲刈りを一緒にさせていただきました。菅原地区ではほとんどのお家で掛け干しをされていました。町内でも掛け干しをされている田んぼをたくさん見かけましたが、昔ながらのやり方は大変な作業だろうと思います。それでも掛け干しをするのは、「ここのお米が美味しい」という声があるからだそうです。また掛け干しにすると冷えた時のお米の味も違うそうですよ。

手間をかけて丁寧に作られたお米、沢山食べたいですね。



登山道整備をしました

10月に入って涼しくなってきましたね。登山もクライミングもいよいよシーズンインです。安全に登山を楽しんでいただけるように、山の会の方々と一緒に先月の台風や大雨の影響で壊れてしまったパクン岩手前の橋の交換をしました。沢の渡渉も簡単になりました。他にも登山道に倒木などもありましたが、持参したチェーンソーで切断したり危険な個所にはロープを張るなどしていただきました。今後も一緒に登山道の整備活動などをしていきます。



ビフォー ▶ アフター